

## 平成24年度 消費生活の安定と向上に向けた県民提案事業

### 我孫子市消費者の会

## 落語「ちょいとお待ち オレオレさん 俺だよ」

創作落語：山遊金太郎師匠

2013年1月20日 15:30～15:55 アビイホールにて

・・・(入りの話を省略)

### オレオレ詐欺予防法の件

オレオレ詐欺に引っかからないため、何がいいかと言ったら、やはり役所に相談することですよね。何しろ消費生活センターへ相談したほうがいいかなと思います。

今日は役所の方がいないもんで言いますけど、役所に相談って、いやなもんです。我孫子って言いませんよ。消防署の隣とか言いませんけど。あそこへ相談に行ったら、受付の前に、なにか投票箱みたいな、ごみ箱みたいな箱がある。その前でお爺さんがその箱に向かって一生懸命、「オ～～オ～～オ～イ」、「オ～～オ～～オ～イ」って言ってるんです。

受付の人は知らん顔をしている。こっちは心配になってね、

「お爺さん、どうしました？大丈夫ですか？」と言ったら、

「兄ちゃん、ほら」指をさして、何かと思ったら、その箱に“あなたの生の声を入れてください。”と書いてある。(笑い)

本来は“あなたの生のご意見を入れてください。”でしょうけど、省略して、“あなたの生の声を入れてください。”お爺さんが真っ赤な顔して「オ～～オ～～オ～イ」。殺人ですよ。それは。

はっきり高齢者に優しい街づくりと言っている町が？これは我孫子かどうかは言いませんけど。(笑い)

時が立つのは早いものですね。今日からは大寒なんだそうですね、寒いわけですよ。もう私はずっと控え室にいたんですけど、寒い。暖房も入っていない。ここは暖かいですね。寒いと、頭の回転も鈍くなりますね。今日は綺麗な人は4人はいますけど。探すのが難しいです。頭の回転が悪いと美人も見えない。しかし、時間がたつのは早いものですね、もうすぐ大晦日が来るんですから。(笑い)

**ジャンケンの占い 省略** (会場を一体化するために行ったものだが、オレオレ詐欺の内容とは関係が薄いので省略しました。)

### 母親のオレオレ詐欺の対処法

私もいろいろ考えまして、俺のお袋が山形で89歳、健在なんです。うちの田舎はすごい

ですよ、米沢牛を知っていますね？ブランドの。食べたことがありますか？とは聞きます。 (笑い)

米沢牛を飼育しているのが私の田舎、山形の小国町で、米沢牛のブランドを出している。私はハイキングが好きで、田舎へ行くとよく出かけるんです。たまたま携帯も時計を持たずに出かける。

道でおじいさんに時間を聞く。「おじさん、すみません、今何時ですか？」

そのおじさんが牛のおっぱいを触りながら、「あのよ、10時30分だよ。」

「ありがとう」って言ってまた、ひと回りしてきて、「お爺さん、何時になりました？」

「オ～11時だよ。」

「おじさん、すごいですね、牛のおっぱいで時間がわかるの？」

「そうじゃないよ、こうしておっぱいを持ち上げると、向こうの時計が見えるだよ。」 (笑い) そういうところが私の田舎です。

俺のお袋が89歳、まあ、お袋のところ、オレオレ詐欺に引っかかっちゃいけないと思うんで、どうしたらいいか。やっぱりそれは生の声を聴かせて、近況を知らせることが一番いいだろうと。それで、電話したのです。「もしもし」。お袋が出た。俺はすぐわかる、お袋だ。山形弁で、「もす～もす～～」っていう。(笑い)

「もす～もす～～」「俺だよ」「へー」「俺だよ」

「ヨシオか～??」私の本名は佐藤トシヒロです。わが家には兄弟が4人がいますよ。上は今田舎にいる兄貴佐藤カツエ、2番目が佐藤ショウジ、3番目は姉でシズコと言います。4番目は私、トシヒロです。家には孫とかお袋の兄弟にもヨシオは居ないんです。もっと遡れば、お袋の兄弟にも、おやじの兄弟にもヨシオという名前もヨシオカという苗字もないです。

「俺だよ。」「ア～ヨシオか～」。おかしいなと思ったら、「ア～いいところで電話をくれた。今毎日、嫁にいじめられて、めしを食わしてくれない。年金も取り上げられた。遊びにも行けない。お前、悪いけど、100万円を振り込んでくれないか。」 (笑い)

「何を言っているだよ。」

「30万円でもいい、10万円でもいい。」

お袋がぼけたかなと思って、夜、兄貴の携帯に電話して、

「兄貴よ、お袋、何かおかしいんじゃないの?」「どうして?」「昼間電話したらこう言われたんだよ」

「お前も引っかかったか。」あれは「お袋の趣味」なんですって。一月ぐらい前から、オレオレ詐欺の電話が来ているらしいです。そこは、お袋ですよ。今と同じことを言ったら、向こう側が「チェッ!」って電話を切ったらしい。その「チェッ!」が快感になった。

いつも電話を取って「もす～もす～～」。 (笑い)

ですから、皆様もそのような電話が来たら、逆にこのようなのも一つの手です。

今度オレオレの電話が来たら、「ちょっとお待ち、オレオレさん、俺だよ。年寄りを騙す

と、いい死に目にあわないぞ。」(笑い)

多分うちのお袋はブラックリストに載っているんじゃないか。

マ～、わたしは一番皆さんにお勧めしたいのが、電話番号を知らせない電話には出ない事、電話番号を知らせない電話はロクなことはないのです。電話器は向こうの番号が出てくるのに変えたほうが良いですよ。

それから、簡単に電話に出て苗字を言わないこと。普通、電話がなったら、「もしもし、佐藤です、金太郎です」これが常識でした。でも今は、言わないほうが良いですよ。それは商売をやっている人はしょうがないでしょうが、普通の家庭では自分の名前を言わないほうが良いです。

私も失敗しています。電話があったから「はい、金太郎です」って。

「パッ」っと電話が切れた。2,3分したら、またかかってきて、

「金太郎さんですか？」と向こうから言います。

「そうですよ」と言ったら、

「寿司6人前お願いします。」(笑い)(金太郎寿司との間違い)

自分の名前を相手に教えちゃうと、向こうのほうがかつちやったら、次から電話して、「佐藤さんですか？」。あ、知り合いかなど思っちゃう。ですから、簡単にこちらの名前を相手に教えないことです。それは一番いいですよ。できることからやっていく、マ～高齢者やら、認知症の方も引っかかることはわかるけど、まず自分ができることからやる。できることは何か、名前を言わないこと、通知してこない電話には出ない事。

## 竿竹の件

身近にいろいろありますね。そういう詐欺に、私も引っかけたんです。気を付けてくださいね。竿竹屋さんがありますね。「サ～オ～ヤ～、竿竹～」車でくる。

今はあまり来なくなっていたと思っていましたが、我孫子で先月来たんです。

これは妙な商売です。竿竹屋だけですから。

「サ～オ～ヤ～、竿竹～、今なら1本千円～、今なら2本も千円～30年前のお値段、30年前のお値段。」

ちょうど私んこの竿が折れてたんで、これはいいね、30年前のお値段で買える。と。

「すいません、竿をください」と言ったら、1メートル50センチの竿をくれた。普通サイズだと3メートルから4メートルじゃないとダメです。

「すいません、もっと長いのがないですか？」と聞いたら、

「エッ、長いの？ここにあるよ。」車の隅のところ並んでいる。

「じゃ、それをください」と言ったら、

「7000円」

「だって、さっき、30年前のお値段、1本千円、2本も千円・・・って言ってたでしょ」

「1本千円はこれ短い分だよ。長いのは7000円だよ」

「だって、長さは言ってなかったでしょう。1本千円って言っていただけだろう？じゃ、要らないよ。」

「エッ・・・何？兄ちゃん、要らないの？車を止めさせて、説明させて・・・エッ？兄ちゃん、要らないの？」すご味がある言い方なんです。

「わかりました。」気が小さい自分は言っちゃった。1万円を出して、「釣りはいいです」。買っちゃった。あんな高い竿。そんなのホームセンターに行ったら、1500円ですよ。(笑い)

この中に商売をなさっている方はなんですけど、あれは一つの詐欺商法ではないかと思えます。「サ～オ～ヤ～、竿竹～、1本千円～」確かに長さを言ってないけど。ああいう商法も皆さん、気を付けたほうがいいですよ。

### アダルトサイト詐欺

もっと怖いのが、あります。今日男性の方がずいぶんお見えですけど、あのパソコンのアダルトサイトって言いますか、エロサイトです。見たいのはわかる。女房の、乳首がお腹にあるようになって・・・ね。(笑い)

無料のサイトをこの間私が見ました。無料サイトを見ていたはずなのに、いつの間にか有料サイトになっちゃった、知らないまに。どこかをクリックしちゃったんでしょう。

(会場に向けて)「見たことがあるでしょう。」「奥さんより綺麗でした？」

いきなり画面に請求書がパッと貼り付いてきました。驚きますよ。女の子の裸をみれたらいいんですけど、いきなり請求書が画面に飛び出している。

それがどうしても閉じられなくて。電源を切った。でも、また電源入れて立ち上げると、その請求書がまたパッと出てくる。それは焦りましたね。これは女房に見つかったら大喧嘩になる。それで、娘にこっそり頼んで、消してもらった。

娘が私にひと言。「父さん、バカじゃない？」軽蔑の目で。(笑い)

娘が、こういうものに対応してくれるサイトがあるらしいと調べてくれて、そっちに電話して、何とか消してくれた。あれは皆さん、気を付けてください。

(会場に)「やっぱりやったことがあります？」

皆が見ているでしょう。このなか、一人か二人？あれは皆好きでしょう。あれは見るだけだから、体は触らないから。ただ怖いのが請求書！！電源を切っても、消えない。また出てくる。しかも裸の女の画面の請求書が出てくる。あれは別に払わなくてもいいらしいんでしょうけど。

私もスケベなものであれを見て、いきなり請求書が出てきてビックリ。(笑い)

それこそ消費生活センターに相談する。そっちに聞いてみたら、それは別に払わなくてもいい、放っておいてもいいらしい。でも気が小さい方はすでに払っていたでしょ。そういう方がいるから、あれも商売として成り立つんだそうで。気を付けてくださいよ。

私の体験談として話しましたが。見たことがないでしょう、画面にパッと貼りついて消えない請求書。それをしゃべると、皆オー！！と言いますよ。女の人も見たことがあるで

しょう、実は昔の私がそうだったかもしれない??。フッフッ (笑い)

## アンケートの件

いろいろあるけれども。

「あら～、和田さん、福田さん、木村さん、いいところであったわよ～」

「どうしたの、鈴木さん？」

「この先に、空き店舗があるでしょう？アンケートを取るだけでね、ティッシュやラップをたくさんもらえるのよ。」

「鈴木さん、そんなところで何か押し付けられるんじゃないの？買わされるんじゃないの？」

「大丈夫よ、私もう体験済みだから。私は昨日ティッシュをたくさんもらってきたの。ね、今日も行くともっと良いものくれるって言ってたから、行きましょうよ。ね～」

「あっ、お兄さん、今日は4人できたわよ。」

「マ～これはお客様、寒い中、ありがとうございます。ささあ、お客様、中へどうぞ。間もなく始まりますから。」

「どうも皆さん、長らくお待たせいたしました。あらっ、なんか皆さん硬くなっている感じがしますね。何か買わされるんじゃないか、何か押し付けられるのではないかって、そういう恐怖心がお顔にありありと出ていますね。安心してください。今日はそういうことはありませんよ。ここに書いてあります。試作品の体験アンケートですから。皆様に試作品を使っただいて、アンケート、皆さんの感想を聞くだけです。」

「タダとは言いません、タダとは。今日はお土産にこのティッシュ、これはただのティッシュじゃないですからね、これは紙からできているティッシュでございます。これは最高級のティッシュですからね。これはご主人には使わせられません。ご主人がお使いになると、鼻の下がブーツと長くなりますから。大変なことになっちゃう。(笑い)

このティッシュにこちらのラップもつけて、今日いらっしゃった方に差し上げます。

さっそく体験してもらいたいのはこちらにあるサポーター、サポーターと言っても、サッカーの応援団じゃないですよ、この中におみ足が痛い方がいます？

「ま～お兄さん、私は膝が痛いよ」

「あら奥様、ちょっとおみ足を拝見。あらっ、奥様、おみ足が素敵なこと、まるで干し大根のよう。(笑い) このシワシワ、たるみといい、干し大根みたいな素敵なおみ足」(笑い)

「あら、お兄さん、私の足は太くないかしら」

「いいえ、このぐらいの太さの足じゃなければ、上を支えられませんよ。奥様。痛い膝

「はここですか？」

「そっちが痛いよ。」

「このサポーター、このサポーターをはめて、奥様、このしまり具合は？」

「あら～キュッとしまって、動きやすくなったわ」

「奥様、大事な話。これは1枚は2万円です、両足で4万円。今日は特別奥様の干し大根のようなおみ足に感動しました。1枚1万円、両足で2万円はどう？本来なら4万円ですよ、4万円を2万円。4引く2はおいくつですか？」

「2よ」

「でしょう？2万円、お得ですよ、奥様。これ、どうです？お買い上げになる気はありません？」

「そうね、言われてみると、足が軽くなったわ、足も細くなるかしら？」

「ええ、そりゃ細くなりますよ、膝をしめると、足首までしまりますから、奥様、2万円、2万円のお得でどうです？」

「じゃ、お兄さん、これをもらおうわ。」

「はい、奥様、お買い物が上手ですね！」

「ささあ、皆さん！これからアンケートの本番になりますよ。皆さんにお願いしたいアンケートは別室にあります。

マッサージ器。ただのマッサージ器ではないですよ。今まで使っているマッサージ器はもうごつごつしたマッサージ器、このマッサージ器はソフトなモミ、ソフトなモミですよ。旦那様と違って、ソフトな、あっ～一人しか入れませんですから、ちょっと個室になりますけど、奥様、変なことはしないですよ。私は独身ですから。(笑い) それじゃどうぞこちらへ奥様。」

「さあ、奥様横になって、電源を入れますよ。どうです？奥様、このソフトなモミかげんはどうですか？」

「あら、いいわ～～。なんか普段使っているマッサージ器と全然違うわね～。」

「いいでしょう奥様、これは非売品ですよ、病院で使っている1台50万円、50万のマッサージ器は病院で使っている。これは非売品ですから奥様。これはお売りできませんよ。奥様どうです？足元から首筋までグッドモミでしょう？1台50万ですよ、これは病院で使っている非売品ですから。お売りできませんから。」

「残念ねえ、売ってくれないの？」

「そんなにいいですか？お気に召しました？うちの展示会は今日は最後ですよ。これを持ち帰ってもなんですからね。今日は上司はいませんから。奥様これ1台しかないですけど、もし奥様がお好みでしたら、これ30万なら、いいですよ。現金なら10万でお届けいたしますけど、どうします？」

「なにか、いいわ、軽くなってきた。本当にお兄さん、10万円でいいの？」

「10万円でいいですよ、じゃすぐに運びましょう。」

「じゃ、もらおうかしら。」

これで、マッサージ器、デカイマッサージ器が家に運ばれてきました。

「奥様、機械を設置しましたから、どうぞお使いください。」

「あら～悪いわね、お兄さん、じゃあ、これ約束の10万円。」

「ハッ？」

「約束の10万。」

「いや、この10万円はマッサージ器本体の料金。運び代・運送代、これは15万、設置代は15万、で40万。」

「お兄さん、そんなことを聞いてないわよ。さっき現金なら10万円って。」

「それは機械代金ですよ。奥さん、こんなに重たいですよ。中にコンピューターも入っていますよ。これは乱暴しちゃいけない。コンピューターが入っているマッサージ器ですから。これは運んでくるのに普通のなんとか猫はダメですよ。ペリカンでもダメなんです。これは丁寧に運ばなくちゃ。運び代は15万、奥さん、これはコンピューターが入っている、コンピューターね～。素人は設置できないですよ。この設置料金は15万、合わせて40万」

「お兄さん、話が違うじゃないの？10万なら私買うと言ったのよ。そんな話は聞いてないわよ、いらぬわよ。持って帰って頂戴。」

「エッ、持って帰れ？・・・ええ、いいよ、持ち帰ってもいいけど、これを設置したのを外すのが10万、持ち帰りは10万などの契約違反金30万円、合わせて70万円。」

「そんなバカな・・・」

「バカなことはあるかよ、買うって言うから、だから運んできたんじゃないか？設置料金、運送代、これは常識だよ、奥さん。えっ・・・どうする？40万払うか、70万を払うか。」  
(笑い)

「わかった、わかりました。置いといていいわ。」

「ね、ね、ね、〇〇さん最近おかしいわよ、全然出てこないのよ。この間ティッシュをもらいに行ったでしょう。アンケートしてからあの人、暗くなったわよ、心配だから行ってみましょうか？」

ピンポン・ピンポン！

「は～い～、誰？」

「私たち。この頃あなたが出てこないんでどうかしたの？って心配して～。あら、いやだ、あなた、このマッサージ器を買っちゃったの？バカね、あなた・・・」

「置いてかれちゃったの。」

「私たちはティッシュとラップだけをもたらって帰ったのよ。」

「本体が10万でいいからって言うから買ったの。そしたら、設置料や運搬費を合わせて

40万って言うの。この機械をおいて、3畳の部屋に寝るところもないの。仕方がないからマッサージ器の上で寝ているの。」

「あのさ、消費生活センターに電話してみたら？」

「エッ、もう一回言って、聞き取れなかったわ」

「消費生活センター」

「そこ、何をするとところ？」

「こういう詐欺行為の相談に乗ってくれるのよ」

「相談料を取られないかしら？」

「大丈夫よ、タダで相談に乗ってくれるところだから。すぐにかけてなさいよ」

「もしもし、私は我孫子の天王台の〇〇と申します。実はこれこれこういうわけで。

エッ？、クーリングオフですか？クリーンセンターの隣ですか？違うの？機械を引き取ってくれて、お金がかかりませんか？無料？？。それじゃ、私はどうすればいいんですか？

はい、はがきでもいい、はい、はい、はがきに詳しく書いて、裏と表をコピーして取っておくんですね。簡易書留で出せばいいの？わかりました。じゃ、すぐにそうしてみます。ありがとうございます。」

それでクーリングオフができました。良かったですね。品物を引き取ってくれて、お金も返ってきた。だけど、条件があるようですからね。そこは良く消費生活センターに相談してくださいよ。我孫子の相談員は親切ですからね。

「ま～～〇〇さん、よかったじゃないの、あなた。」

「私は一体どうなるかと思ったわ。40万円を取られて、私は一人でずいぶん悩んだの。」

「こういうことを一人で悩んじゃ、ダメなのよ。すぐに消費生活センターに電話して相談するのが一番よ。」

「そうね、こういうことをやっぱ一人で悩んじゃダメなのね～」

「でもさ、そのクーリングオフでき、私はもっと早く知っておけばよかったわ。クーリングオフって、そんないいものがあるのね。」

「あらっ、あなたも何か引っかかったことがあるの？」

「いいえ、家の亭主をクーリングオフしたかった。」(笑い)

いろんな甘い言葉に気を付けてくださいね。欲張っちゃいけません。

皆さんは年金をもらってるでしょ。退職金をもらって、それを増やそうと思うとダメなの。未公開株だの、ファンドだの、そこを狙われるんです。今の自分に満足しましょう。健康が一番。笑うことが一番ですよ。(笑い)

最後にオレオレ詐欺に言ってあげたい。オレオレ詐欺の電話があったら「ちょっとお待ち、オレオレさん、俺だよ。年寄りを騙すといい死に目にあわないよ」こう言いたいです。弱い物を騙す。騙し取ることは人間としても最低のことです。そんなところにあげるお金



がありましたら、私に投資してください。30倍にして返しますから。(笑い・拍手)  
どうもありがとうございました。